

## 令和7年3月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通 告 者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
3/24 1番	大竹勝子	1 新年度予算に対する考えを問う 2 大井川鐵道復旧に向けた取り組みについて	町長 町長
3/24 2番	杉山広充	1 教育行政に関して(令和6年3月議会 関連事項) 2 「義務教育学校」に関して 3 川根高校に関して	教育長 教育長 <small>町長・教育長</small>
3/24 3番	中原 緑	1 大井川鐵道全線復旧と、観光について 2 地域おこし協力隊について	町長 町長
3/25 1番	中澤 莊也	1 町の将来像・ありたい姿について 2 森林経営管理制度の推進について 3 在宅高齢者等配食サービスについて	町長 町長 町長
3/25 2番	野口直次	1 農産物出荷者の流通面への支援対策を問う 2 国道 362 号 473 号併行区間の瀬沢～久保尾間の通行止めについて 3 台風 15 号の教訓から当町においてライフライン強化はどのように進められているのかを問う	町長 町長 町長
3/25 3番	佐々木直也	1 川根本町の観光及び町民の町への愛着の醸成への施策について 2 地域おこし協力隊の連携について 3 町の発行物の専属デザイナーについて	町長 町長 町長

※議員の質問の制限時間は、1回につき30分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

3月24日

発言順1番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
大竹 勝子	1 新年度予算に対する考えを問う	<p>1 町長は、ことあるごとに町民の命と健康を第一に考える町政、町民が安心して暮らせる町づくり、子育てするならこんな町でと考えていると言っているが、町民に心底そう思ってもらえる予算になっていると考えるか。</p> <p>2 国でも国民の声を聴き、学校給食の無償化を進めてきている。近隣市町でも広がっており、町長は国に先駆けて前倒しをして無償化をする考えはないか。</p> <p>3 これまでも何人かの議員が質問しているが、「子供は宝だ」と言いながら川根高校以外の、高校生の通学費を補助していない。補助していく考えはないか伺う。</p> <p>4 補聴器補助が予算で計上されているが、住民税非課税者だけとなっている。補聴器は高く購入できない方が多い。補聴器を希望する人全員の利用が進むよう所得制限を外すことは出来ないか。</p>	町 長
	2 大井川鐵道復旧に向けた取り組みについて	1 大井川鐵道が不通になって一番困っているのは川根本町である。復旧へ向けて、これまでどのような取り組みや働きかけをしてきたのか。これからどのように進めるか伺う。	町 長

3月24日

発言順2番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
杉山 広充	1 教育行政に関して (令和6年3月議会 関連事項)	(1)本町公営塾は、平成30年に開始し、「Birth47」に委託している。しかし、学園生(7~9年)は、夏休み、冬休み等に限定され、通常利用ができていない。「向学心に燃える」学園生にも、通常利用させたいと思う。いかがか。 (2)川高生も学園生も減少している現状である。この際、業者と協議をし、希望者全員の受講を是非、達成させたい。 見解を伺う。	教育長
	2 「義務教育学校」に関して	各学園は、「学習指導要領総則」に明示されている「思考力、判断力、表現力等の育成」を最重点とし、「教育課程」を編成し、学校運営がなされていると思う。 (1)各学園の教員数を伺う。 (2)小学校、中学校両方の免許状を取得している教員数(光・三ツ星)を伺う。 (3)保持していない免許状取得のために努めている教員に対し、どのような配慮・支援をしているかを伺う。	教育長
	3 川根高校に関して	静岡県は、教育の質の維持・充実に向けて県立高校の在り方を見直すため、県内を10地区に分けて「地域協議会」を設置し、検討する方針を示した。 (令和7年2月28日 静岡新聞掲載) (1)志太・榛原地区(5市2町)は、3月26日に開催されるという。 (出席者:首長、教育長、同窓会長) (各校長は、オブザーバーとして出席) 川根高校は、昭和38年4月に藤枝東高の分校として設置、41年4月に独立現在に至る。(卒業生は、7,275人) 地域協議会に、どのような思いで、どのような考えをもって臨むのか。伺う。	町長 教育長

3月24日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中原 緑	1 大井川鐵道全線復旧と、観光について	<p>(1) 大井川鐵道は、令和4年9月の台風災害から2年半が経過した今も、笹間渡～千頭駅までの区間は不通である。令和5年3月には「大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会」が結成され、全線復旧を目指す方向性などは決定したものの、復旧費用の分担や復旧工事の目処はいまだ立っていない。不通による経済損失は年間12億と試算され、早急に事態打開が必要であるが、川根本町として全線復旧に向けてあり方検討会へ具体的な行動をもって対応しているのか伺う。</p> <p>(2) 町は令和6年度に音戲の郷の施設運営のあり方を検討している。方向性の案として「譲渡・売却」、または「継続・リニューアル」が挙げられていたが、譲渡・売却先として大井川鐵道にという考えはあるか伺う。</p> <p>(3) 蒸気機関車運行を目的とした大井川鐵道及び、静岡県、沿線市町参加による「大井川鐵道運行協議会」創設について考えを伺う。</p> <p>(4) 大井川鐵道による長島ダムから発生する堆積土砂の一部を貨物輸送することについて考えを伺う。</p> <p>(5) 新副町長にどのような形で全線復旧に向けての引継ぎをしていくのか伺う。</p>	町 長
	2 地域おこし協力隊について	<p>(1) 町は毎年地域おこし協力隊を募集、採用している。主に観光に関連した業務内容であるが、どのような目的、位置づけで募集、採用しているのか伺う。</p> <p>(2) 令和2年～6年度までの地域おこし協力隊の隊員が取り組んだ業務内容と、実績について伺う。</p> <p>(3) 採用後の町の事業目的に対する結果と、成果を伺う。</p> <p>(4) 令和6年度から就業中の隊員と、令和7年度採用予定の隊員の採用目的と期間、業務内容を伺う。</p> <p>(5) 本年度は地域おこし協力隊が町全体で6名と過去最多になる予定だが、彼らへ求め、期待することは何か、6名に対しそれぞれ伺う。</p>	町 長

3月25日

発言順1番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中澤 莊也	1 町の将来像・ありたい姿について	<p>町長は、令和7年度予算編成に当たり、町の将来像・ありたい姿として、シビックプライドを抱けるまち～住み続けたい・住んでみたい～としている。</p> <p>(1)町長が描くまちの将来像,「シビックプライドを抱けるまち」とはどのようなものであるか伺う。</p> <p>(2)令和7年度予算において、シビックプライドという言葉が持つ地域社会の貢献意識を町民に抱かせるための事業としては、どのようなものを考えているか。</p>	町長
	2 森林経営管理制度の推進について	<p>温室効果ガスの削減や土砂崩れなどの災害を防ぐなどの多面的機能を有する森林の適切な管理を促進するために設けられた森林経営管理制度を森林所有者に周知し、推進していく必要がある。</p> <p>(1)森林所有者の意向を聞くための説明会等を地区ごとに開催する考えはあるか。</p> <p>(2)森林法第10条の7の2第1項の規定により届出をした山林の所有者に対し、経営管理の意向を確認しているか。</p> <p>(3)小規模森林整備(間伐・倒木除去等)に対する補助金制度を創設する考えはないか。</p>	町長
	3 在宅高齢者等配食サービスについて	<p>高齢者等への配食サービスが、孤食を助長することのないような取組が必要と考える。</p> <p>(1)弁当をコミュニティーセンターなどにまとめて届け、近くの人達が集まって会食するような方法をとることはできないか。</p>	町長

3月25日

発言順2番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野口 直次	1 農産物出荷者の流通面への支援対策を伺う。	(1) 農産物を藤枝に運ぶ地元業者が突然昨年12月で休業、生産農家は途方に暮れている。町としても関係団体と協議し、早急解決に知恵を貸してほしいが町の考えを伺う。 (2) 農家経営が安定し継続していけるためにも、流通方法と町の配送者が成り立つ支援助成を検討してほしいが考えを伺う。 (3) 移住者・後継者(若者)が当町において職業選択の一つとして、新規就農ができるためにも、上記の課題解決に協力してほしいが考えを伺う。	町長
	2 国道362号473号併行区間の瀬沢～久保尾間の通行止めについて	(1) 現時点での復旧復興工事の見通しを伺う。 (2) う回路の町道・林道整備を通勤通学等の安全面からも、更に改良できないかを伺う。 (3) 台風・大雨のシーズンを迎え、う回路を含め集落孤立を防ぐための対策を、住民説明会等を含め検討されているのか伺う。	町長
	3 台風15号の教訓から当町においてライフライン強化はどのように進められているのかを伺う。	(1) 水道施設の水源が1か所のみ集落地域は長期断水が心配されるが、対策を伺う。 (2) 地震・台風等災害規模にもよるが、主要道路の復旧工事は最短何日を想定しているのか伺う。 (3) 電気、ガス、ガソリン供給に関する各種協定は締結しているのか伺う。	町長

3月25日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
佐々木直也	1 川根本町の観光及び町民の町への愛着の醸成への施策について	<p>川根本町の風景には植林や茶畑が多く、季節感を感じる要素が少ないように思う。季節感を感じる風景があることは、観光的な観点、町民の町への愛着の醸成という観点からも重要なことだと考える。</p> <p>(1) 「大井川鐵道全線復旧・復興に向けた意見交換会」において、会の参加者から、活動の一環として、駅周辺に花を植えるというアイデアが出ていた。すぐにでも実現可能だと考えるが、いかがか。</p> <p>(2) 幹線道路沿いに、季節の花や桜などを植えることを地区と連携しながら進めていくことはいかがか。</p> <p>(3) 朝7時と夕方17時の時報の音楽を季節ごとに変えるのはいかがか。</p>	町長
	2 地域おこし協力隊の連携について	<p>(1) 来年度は地域おこし協力隊が最大で6名になる。地域おこし協力隊は、役場担当課との密な情報共有・連携は大切な事であるが、同時隊員独自の創造的な動きを期待するものであるかと思うが、そのためには隊員同士が集まり、話す場が必要だと考える。</p> <p>地域おこし協力隊専用の事務所を設ける考えはないか伺う。</p> <p>(2) 当町における「移住コーディネーター」の役割のひとつに、地域おこし協力隊の統括があると伺ったが、今後についても継続していく考えがあるか。</p>	町長
	3 町の発行物の専属デザイナーについて	<p>(1) 現在は各課の事業や企画を周知するにあたってのチラシやポスターについては、各課で制作しているかと思う。</p> <p>川根本町として、発行物の専属のデザイナーを設けることは情報発信力、集客力、職員の業務効率などの様々な観点からメリットが大きいと考えるが、いかがか。</p>	町長